

一 般 質 問

12月議会では、4名の議員が一般質問を行いました。

未収金の今後の

回収の道筋は

榎谷 千重子 議員

県は「県下一斉徴収強化月間」を設定し、県と市町村が連携した徴収対策を実施し、徴収を図るとともに地域社会に滞納を許さない気運を醸成し、新規滞納の抑制を図っています。

牟岐町では、どのような現状で、今後の取り組みとしてどのようにするのか、前年度に比べて新規滞納者は増えているのか、未収金の滞納はどれ位あるのか、税金だけでなく、水道料金や公営住宅、その他の未収金は現在どれだけあるのか、欠損とするまでの徴収事務の流れについてお聞きいたします。

福井町長

税や家賃など一般会計分で1500万円余り、国民健康保険会計分で2100万円余り、介護保険会計分で1000万円余り、後期

高齢者医療会計分で10万円余り、上水道事業会計分で2800万円余りです。悪質なもののや額の大きなものは、徳島県滞納整理機構に徴収を委託し、法的措置を取りながら徴収に努めています。

宮内税務会計課長

新規滞納者については、年度途中のため納期が到来している分、いない分もあります。新たな滞納を生み出さないよう迅速な督促、催促、訪問徴収を行うとともに来庁要請をして納付計画を立てるなどの方策を講じながら、完納に向けて取り組みを強化しています。また、県と連携して共同催告を行うとともに、高額な滞納のある方については機構に移管することにより、効果的な徴収実績を上げています。



税務会計課の窓口相談

海部総合センターの地下タンクの現状と使用状況は

榎谷議員

海部総合センターに地下タンクがありますが、現状はどのような状況になっているのか、お聞きいたします。

近い将来、来ると言われている、南海トラフ大地震を最小限に食い止めるべく対策がなされているところですが、牟岐町としても海

部病院の高台への移転、小中、保育園のより安全性を求めて移転を実施しています。東北、阪神大震災の教訓を生かし、地震、津波、その後の火災のきっかけにならないよう海部総合センターの地下タンクの現状と使用状況をお聞きいたします。

久岡住民福祉課長

海部総合センターの地下タンクの現状ですが、油が入っている地下貯油槽で、